

壯なりし今年の保育界

今年の我が保育界は、例年に似ざる活氣をあらはした。八月東京に開かれたる全國幼稚園關係者大會と、十一月京都に開かれたる全國教育大會の保育部會とは、即ち之れである。素より教育の本質は斯くの如き臨時の集會的氣勢の擧がるや否やによつてのみ云々せらるべきものではないが、諸方面の教育が、年々それ／＼の壯なる集會を有するにも拘はらず、我保育界にのみ久しく此事のなかつたのは、内より見て物足らず、外より見て甚だ振はざるものであつた。それが此の大正四年に於て、東西兩京に於て、しかも、いづれも非常なる盛大を以て開かれたのである。壯なりといはざるを得ない。

而して此の兩度の保育大集會は、たゞ一時的の賑さのみでないことは、いふまでもないことである。吾人は其の効果に就て、最少限度に考てるとしても、次の三つの點は見逃し得ないのである。第一は、幼稚園關係者即ち保育界内部のものに刺戟

を與へて其の自覺を新たにしたことである。第二は、保育界以外のものをして、幼稚園教育に對して認識を強く深からしむるに効あつたことである。第三は、會そのもの、熱心及び諸種の答申、建議等によつて教育當局の此の方面に對する注意を加へ得たと信じ得ることである。而して、之れ丈けにしても兩度の集會は大に其の効果があつたといへるのである。

併し、此の効果なるものは、實は未だ實現的に計量することの出来ないものであつて、之れは將來に期せなければならぬ。保育界以外のものは一時は注意しても忘れて仕舞ひ勝ちである。當局への建議案はまだ提出せられ受理せられたといふだけである。たゞ二度の大集會を開いたといふだけで事終れりとすべきでもなく、盛であつたのみ語り合つて居るべきでもない。

壯なりし今年の保育界は之れから後の保育者自身の努力によつて眞に壯なるものとせられなければならない。